

お祝いの言葉



愛知県知事 大村 秀章

愛知県立知多翔洋高等学校が創立10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申しあげます。

貴校は、平成17年に、県立知多高等学校と県立知多東高等学校が統合し、多様な科目選択や体験的な学習を特色とする総合学科の高等学校として開校されました。以来今日まで、着実な教育実践を重ね、新しい時代を切り拓く人材を育成してこられました。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様方の熱心な御指導と、保護者、同窓会並びに地域の皆様方の温かい御支援のたまものと、深く敬意と謝意を表するものであります。

グローバル化が、進む現代にあって、本県は、県内産業の国際競争力や付加価値の高い産業を強化し、今後も日本の成長を牽引し続ける存在であることを目指しております。そのために、困難に直面しても果敢に挑戦しようとする気概をもち、世界を舞台に活躍できる人材を育成することが求められています。

その意味におきまして、貴校が校訓「最善を尽くす」のもと、自己実現のために真摯に学び続け、国際的視野に立って新しい時代を築こうとする意欲に満ちた若者の育成に努めておられますことは、誠に意義深いことであります。

生徒の皆さんには、先輩方が築かれた良き伝統を受け継ぐとともに、未来に向かって飛躍するために、高い理想と目標を掲げ、真摯に学業に励まれることを期待しております。

貴校がこの記念すべき創立10周年を節目として、地域社会の期待と信頼に応え、さらなる飛躍を遂げられますことを心より祈念し、お祝いのことばといたします。



愛知県議会議長 三浦 孝司

愛知県立知多翔洋高等学校が、このたび創立10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴校は愛知県立知多高等学校と愛知県立知多東高等学校の両校が平成17年に統合され、知多地区唯一の総合学科の学校として、生徒に寄り添ったきめ細やかな指導と着実な教育実践を積み重ね、地域の皆様の大きな期待と信頼に応えて優秀な人材を数多く輩出されてきました。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様の熱心なご指導と、保護者、同窓会並びに地域の皆様の温かいご支援とご協力の賜物と存じ、ここに深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、高度情報化やグローバル化が進展する現代社会において、次世代を担う子どもたちは、意欲や目的意識をもって自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる力が必要とされています。

そうした中、貴校が総合学科の特色を生かし、充実した設備を活用した多様なカリキュラムの実践や個に応じた進路計画の策定など、キャリア教育の確立に熱心に取り組まれていることは誠に意義深いことと存じます。

愛知県議会といたしましても、子どもたちが将来の目標に向けて、自分の可能性を追求し、社会に有為な人材として羽ばたけるよう、教育環境の更なる充実などに、全力を尽くしてまいる所存でございます。

生徒の皆さんにおかれましては、数年後を見据えた目標をしっかりと立てて、それに向かって挑戦し、将来、様々な分野で活躍されますことを心より期待いたします。

終わりに、貴校が創立10周年を新たな門出として、更なる飛躍を遂げられますことをお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



愛知県教育委員会委員長 岩月 慎自

愛知県立知多翔洋高等学校が創立10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申しあげます。

本校は、平成17年に県立知多高等学校と県立知多東高等学校が統合し、新たに総合学科として開校しました。以来、両校の歴史を継承しつつ、総合学科としての特色を生かして、地域を支える多様な人材を輩出されてきました。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ、諸先生方の熱心な御指導と、生徒の皆さんのひたむきな努力によるものと存じ、深く敬意を表します。また、本校のために温かい御支援をいただきました保護者並びに地域の皆様方に、心から感謝申し上げます。

今日の社会は、グローバル化や情報化が一層進展し、急速に変化しています。こうした中、教育には、生涯にわたり学び続けていくための基盤となる力を身に付け、それぞれの能力や個性を最大限に發揮しながら、社会に参画し貢献することができる若者を育成することが求められております。

この意味において、本校が、生徒の多様な興味・関心に応じた多彩な授業や、地域と連携した特色ある教育活動を通して、学びへの意欲と探究心を養い、夢を求めて日々最善を尽くし、世界に羽ばたく意欲のある若者の育成に努めておられることは、誠に意義深いことと存じます。

中国の古典に「日々に新たにして、又日に新たなり」ということばがあります。これは、一日ごとに新しい気持ちで、昨日よりも今日、今日よりも明日の向上や進歩を心がけなければならないという意味です。生徒の皆さんには、日々の学習や部活動に全力で取り組み、友と切磋琢磨する中でたゆむことなく心身を鍛えられ、たくましく成長されることを期待しております。

最後に、この10周年を節目として、本校の教育活動が更に充実し、一層の飛躍を遂げられますことを祈念して、お祝いのことばといたします。



知多市長 宮島 壽男

このたび、愛知県立知多翔洋高等学校が創立10周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴校は、知多市の切なる要請によって設立された市内県立高等学校2校の歴史を受け継ぎ、総合学科として新たに創立された高等学校です。本市はこれまで、中部圏の中核を成す工業地域として、豊かな農業の実りを産する地として、また住宅都市として発展してまいりましたが、この歩みは、前身2校を含む知多翔洋高等学校の歩みと重なるものであります。この間、着実な教育実践を重ねられ、地域から信頼される学校として発展されました。これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様のご尽力と、卒業生の努力精進、さらには保護者並びに地域の皆様の温かいご支援の賜と存じ、深く敬意を表する次第であります。

中国の古典に「火を乞うは、燧(ひうち)を取るに若かず」という言葉があります。人に火をくださいと頼むよりも、自分で火打ち石を手にして火を出す方がよいという意味であり、自ら進んで事に当たろうとする姿勢の大切さを言うものとして、貴校の教育の在り方と相通するものであります。地域の発展のためには、人材の育成こそが重要であり、充実した教育により有為な人材を世に多く送り出されている貴校への期待はますます大きなものとなっております。今後とも地域社会との搖るぎない信頼関係を築きつつ、発展されることを期待しております。

最後に、貴校のさらなる飛躍と関係の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。